

# Basic Training Book

紛争管理と現代調停のためのトレーニング書

Please come in!

## 調停への誘い

レビン小林久子



# 目次

## 第1章

### 代替的紛争解決方法 について

#### 紛争、調停、調停人について 1

#### 米国における調停の発展と裁判制度との関わり 6

- 1-1 紛争の解決方法について 10
- 1-2 ADRについて 11
- 1-3 米国で利用されているADR方法の種類 12
- 1-4 ADR方法の区別 13
- 1-5 米国式調停理論の構成概念と歴史的事実 14
  - 調停と多文化主義 15
    - 自己決定について 15
    - 平等について 18

## 第2章

### 紛争観について

- 2-1 新たな闘いの出現 24
- 2-2 異なる紛争アプローチ 25
- 2-3 経済学的アプローチ 26
- 2-4 経済学的アプローチ(2) 27
- 2-5 社会心理学的アプローチ 28
- 2-6 社会心理学的アプローチ(2) 29
- 2-7 社会心理学的アプローチ(3) 30
  - ウイン-ウイン・リゾリューションに  
ついて 31
  - 個人と社会の関係 33
- 2-8 社会哲学的アプローチ 34
- 2-9 社会哲学的アプローチ(2) 35
- 2-10 社会哲学的アプローチ(3) 36
- 2-11 まとめ 37
- 2-12 まとめ(2) 38
  - 解決と和解 39

### 第3章 紛争の理解

- 3-1 紛争の構成要素 42
- 3-2 当事者 43
- 3-3 当事者の紛争観 44
  - 論争のスタイル 45
- 3-4 相互依存関係 46
- 3-5 パワーについて 47
- 3-6 パワーについて(2) 48
- 3-7 パワーについて(3) 49
  - 調停とパワー 50
- 3-8 紛争の要因 54
  - 紛争と欲求について 55

### 第4章 調停のスキル

- 4-1 スキルの目的 60
- 4-2 スキルの種類 61
- 4-3 言い換えの意義 62
- 4-4 パラフレージング 63
- 4-5 リフレイミング 65
- 4-6 リフレイミング(2) 66
- 4-7 サマライジング 68
- 4-8 サマライジング(2) 69

### 第5章 調停の用語

- 5-1 調停の用語 72
  - イシューと争点 74
  - 紛争管理シート 76

### 第6章 調停実施

- 6-1 調停人の役割 78
  - 中立性について 79
- 6-2 調停のプロセス 82
- 6-3 第1段階 始めの挨拶 84
- 6-4 第2段階 状況の把握(傾聴と要約) 85
- 6-5 第3段階 方向付け 87
- 6-6 第3段階 方向付け(2) 88

### 第7章 和解について

- 6-7 第4段階 ブレーン・ストーミング 89
- 6-8 第5段階 解決原案をまとめる 91
- 6-9 第6段階 合意書の作成 92
- 6-10 第7段階 終わりの言葉 93
- 6-11 コーカス 94
- 7-1 和解とは 96
- 7-2 良い和解とは 97
- 7-3 和解の障害物 98
- 7-4 正義感の主張 99
- 7-5 正義について 100
- 7-6 正義について(2) 101
  - 調停の正義について 102
    - 理念と実践の正義の違い 102
    - 正義の種類 104
  - 分配的正義の三原則 107
  - 手続的正義の三要素 108
- 7-7 怒りについて 109
- 7-8 怒りについて(2) 110
- 7-9 怒りについて(3) 111

トレーニングの終わりに 113  
索引 116